

ミャンマースタディーツアー

2018年2月8日～13日

高校2年生 生徒作品



概要

ミャンマースタディーツアーの中で、私たちはヤンゴンとタウンジーを訪れた。そして様々なプログラムの中で、私たちがどのように社会課題と向き合うかについて学んだ。

ミャンマーでは、表面上では民主体制になったものの、ごく最近まで紛争があったりと、いまだに多くの問題を抱えている。ツアープログラムや、現地の方々との交流を通して、様々な社会課題を発見した。その中で私たちは、ミャンマーの教育問題に着目した。教育の質を中心に問題を掘り下げると、家庭や自治体の貧困問題が浮き彫りとなった。そしてタウンジーで実際に、ミャンマーの社会課題を解決しようと「八角平和プロジェクト」を行う、林健太郎先生のもとを訪れた。現地で実際に植樹体験をし、八角栽培が三つのポイントで課題解決に貢献すると学んだ。

最後にこれらのプログラムを通して、今回のツアーで感じたことや、私達から見た新しいミャンマーについて述べていく。

ミャンマー連邦共和国

首都 : ネーピードー

人口 : 5,142万人 (世界第25位)

人口密度: 75人/km²

公用語 : ビルマ語

通貨 : チャット

気候 : 熱帯モンスーン気候 (沿海部)

熱帯サバナ気 (内陸部)



国旗

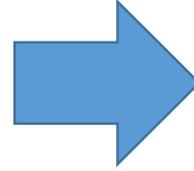


イギリスから独立した1948年から、1989年までの旧国名はビルマ連邦。軍事独裁政権から民主体制になったもののロヒンギャ問題や国内紛争はいまだに残っている。

ツアープログラム

Day 1 (2.9)

1. ヤンゴン観光
2. ワークショップ
「社会課題の構図」 中原一就
「National YMCAの活動」 Eve Nan



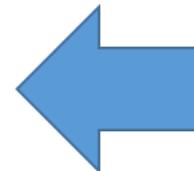
Day 2 (2.10)

Taungoo YMCA ユースミーティング
(社会課題の設定とアプローチ)



Day 3 (2.11)

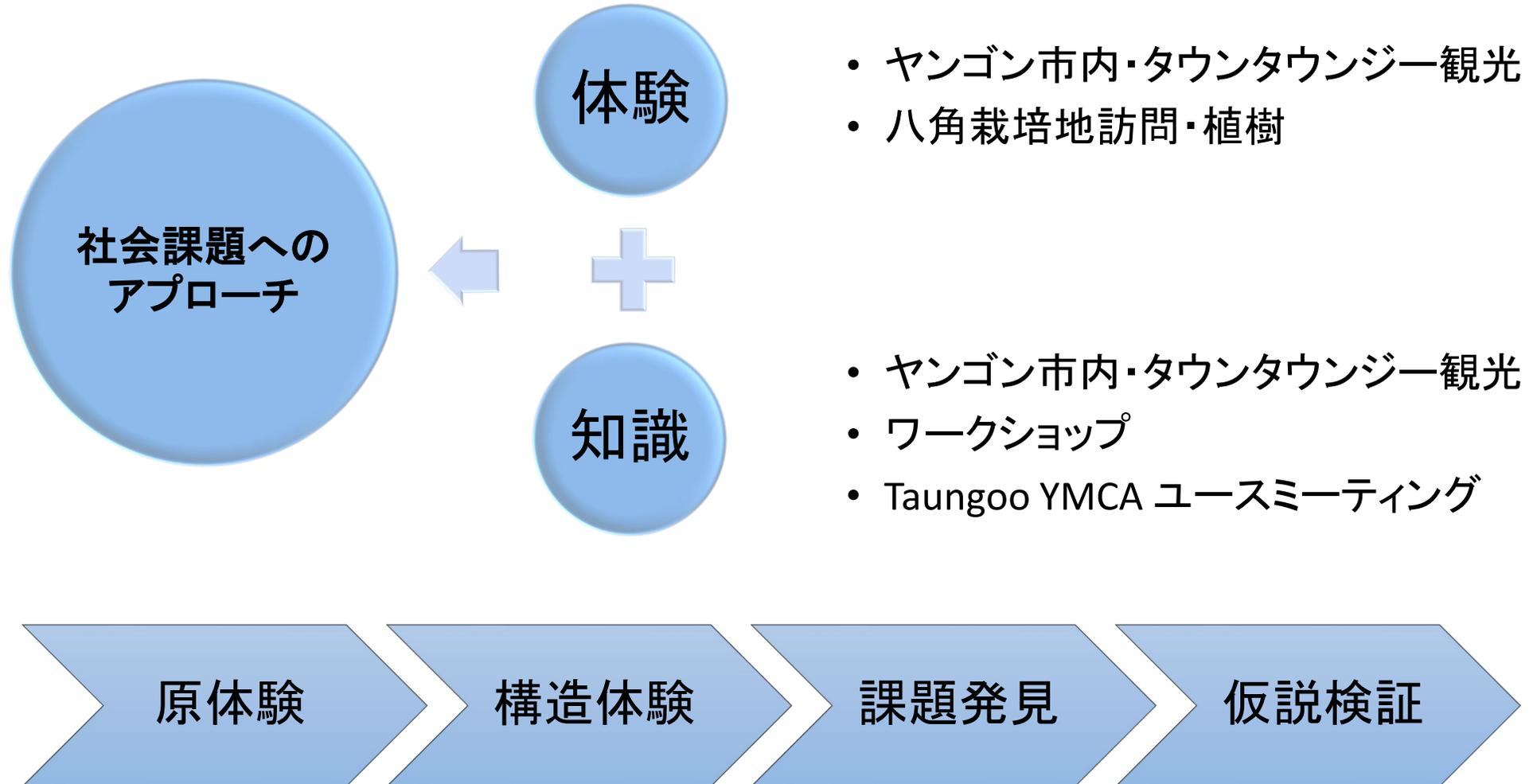
1. Naw Bu Bo山の参拝
2. 八角栽培訪問 / 植樹
3. ワークショップ
現地のパートナーから話を聞く
(Saw Christopher
カレン州元農業大臣)



Day 4 (2.12)

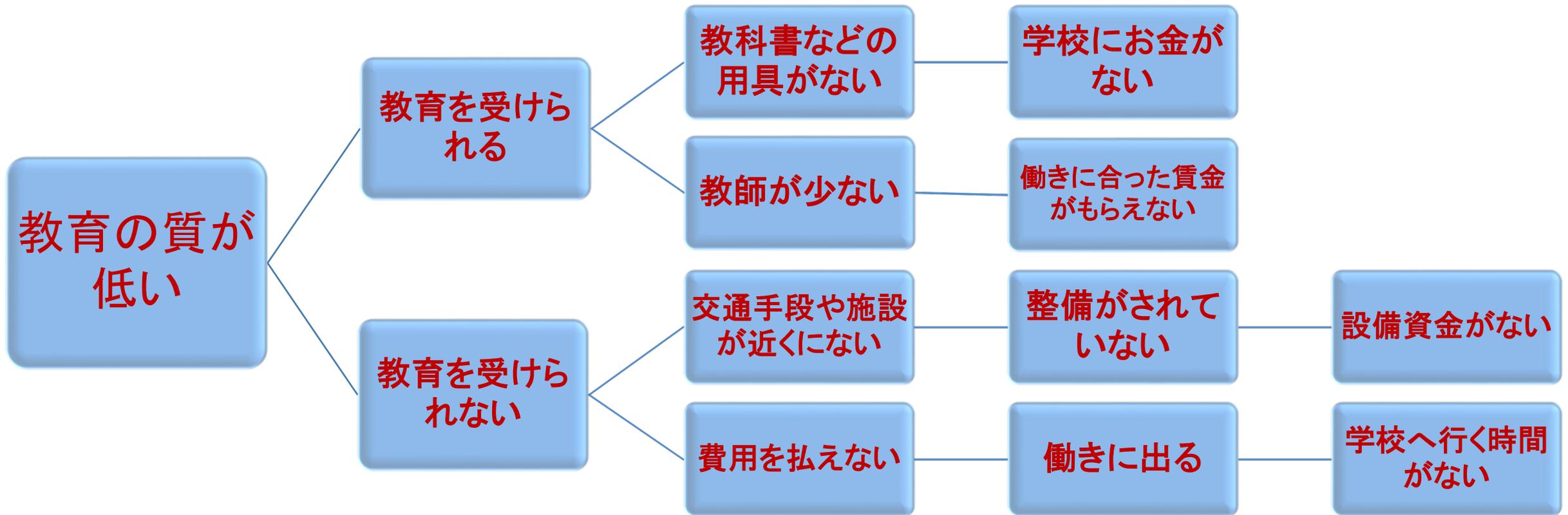
1. ワークショップ「アプローチと実践」
 - ・ 黒柳英哲 (Linklusion)
 - ・ 北角裕樹 (Journalist)
 - ・ 村上由里子 (HerBEST)
2. ヤンゴン観光

プロセス



ワークショップで発見した社会課題

貧困・教育問題



八角平和プロジェクト



八角栽培

シキミ酸抽出

タミフル製造

平和への一歩

八角(スターアニス)

中華料理によく使われる香辛料の一種

2012年より国際NGO“国境なき医師団”のメンバーでもある医師、林健太郎先生が活動を開始。

医療活動だけでは根本解決にならないと思い、インフルエンザの治療薬「タミフル」の原料でもある八角を栽培し、現地の人々の雇用を上げるために始めた。

- ①タミフルの製造でインフルエンザパンデミック防ぎ世界の安全保障に貢献する。
- ②作業の一部を政情不安であった地域の産業として育て、帰還難民・国内避難民の雇用を創出する。
- ③国際感染症予防薬を製造し、各国の安全保障に貢献する。

参考文献

1. 春日孝之 『未知なるミャンマー』 (毎日新聞社、2015)
2. 田村克己 『ミャンマーを知るための60章』 (明石書店、2013)
3. エマラーキン 『ミャンマーという国への旅』 (晶文社、2005)
4. 高橋昭雄 『ミャンマーの国と民』 (明石書店、2012)
5. 伊東利勝 『ミャンマー概説』 (めこん、2011)